



第 44 回

平成 29 年 6 月 26 日

No. 1435

会長 吉良昌一
幹事 穂田英一郎

例会日／毎週月曜日 12:30～

例会場／トキハ会館 4F

TEL 097-532-0611

FAX 097-532-8386

会長スローガン

「誠心誠意」

Email : oita1985rc@mist.ocn.ne.jp
ホームページ : www.oita1985rc.jp2016-17年度
国際ロータリーのテーマ「人類に奉仕する
ロータリー」R I 会長
RI第2720地区ガバナー
大分第4グループガバナー補佐ジョン・ジャーム
前田眞実
前藤隆

■ 本日のプログラム（6月26日）於：コンパルホール

| | | |
|-------|---------------------|--|
| 12:30 | 点 鐘 | |
| | 会 食 | |
| | ロータリーソング 「奉仕の理想」 | |
| | ゲスト・ビジターの紹介 会長 吉良昌一 | |
| | 会長の時間 会長 吉良昌一 | |
| | 出席報告 出席担当 大久保修身 | |
| | 幹事報告 幹事 穂田英一郎 | |
| | 委員会報告 「関係委員会」 | |
| | ニコニコタイム 高野 太 | |

13:00 新年度クラブ協議会

会長の時間 (6月26日) 会長 吉良昌一

ロータリーが誕生したころ

今回で最後の会長の時間になりました。充実した会長1年を送らせていただきました。ロータリークラブに入会させて頂いた事に大変感謝しております。

最後にもう一度ロータリーが誕生したころのポールハリスさんの思いを綴ってみたいと思います。

* * * * *

「シカゴという大都会に集まった、この小さなグループの会員にとって、ロータリーは砂漠のオアシスのようなものでした。彼らの集会は、**今日のほかのクラブの集会とは違って、もっと親密であり、はるかに友情がこもっていました。**面倒な、意味のない制約はふりすてられ、もったいぶつたとりつくろいは入り口で断られます。会員たちはみんな少年に戻るわけです。

私にとって、クラブの集会に出席することは、あの谷間の家に帰るのと同じことだったのです」

「あの谷間の家」とは彼が少年時代を過ごした祖父の家のことです。

みなさんにとて、例会は、クラブは、そのような場所になっているのでしょうか。入会して間もない人は「とんでもない、緊張の連続です」とおっしゃるかもしれません。しかし、時間の経過とともに、少しずつ例会が居心地の良いほっとする時間に変わることを願っています。

2017年2月「ロータリーの友」より抜粋。

* * * * *

積極的に例会や他クラブ活動にも参加し、先輩会員に積極的に話かけてください。また、先輩会員も新人会員に優しく接して下さい。

ロータリークラブを発展させる秘訣ではないでしょうか。

規律正しい居心地の良いクラブを目指して！

我がクラブよりガバナーが出ることに誇りと自信をもっていきましょう。

■ 第43回例会の記録（6月19日）

夜の例会 於：にしおか

・出席報告（6月19日）

| | |
|--------|---------|
| 会員総数 | 16 名 |
| 6月 19日 | |
| 出席免除 | 2 名 |
| 出席会員数 | 12 名 |
| 出席率 | 75.00 % |
| ゲスト | 2 名 |
| ビジター | 46 名 |
| 6月 5日 | |
| 修正出席率 | 80.00 % |

(サインのみ受付)

ロータリーソング

【四つのテスト】

真実かどうか みんなに公平か
好意と友情を深めるか
みんなのためになるかどうか



今年度最後の夜の例会を「にしおか」さんにて開催しました。

来年度入会予定の柴山・大木様両名をお迎え、また小野会員からの焼酎の差し入れを頂きお酒も大いに進み、楽しい時間が尽きる事無く2次会へも繰り出しました。

来年度は高山エレクトのホストクラブとしての役目も始まります。

クラブ一丸となって、頑張っていきましょう！



ニコボックス

★坂本 肇会員（自主3口）

地区補助金を活用してサッカー観戦のプロジェクトを実施した「社会福祉法人櫻の木」様から設計監理を委託していただきましたグループホームが無事に完成した事に感謝して。

ゲスト・ビジターの紹介

ゲスト：柴山 雄一郎様、大木 孝吉様（入会予定者）

〈例会予定〉

- | | |
|----------|------------------|
| 7月 3日（月） | 高野幹事の挨拶 ～入会式～ |
| 7月10日（月） | 会員増強について 橋本亜紀子会員 |
| 7月24日（月） | 坂本会長の挨拶 |